

おれんじニュース

No.402

2023年11月

CONTENTS

月例山行案内	2
お知らせ	3
定期トレーニング	4
宝満山・仏頂山	5
北アルプス（雲の平）	6
舞岳ふれあいロード	8
釈迦岳・御前岳	9
おれんじカレンダー	10

三俣山主峰と北峰の分岐を上る

2023年	11月	12月	時間	場所
専門部会	25(土)	23(土)	13:30~14:30	西諫早公民館
全体集会			14:30~16:00	

11月



月例山行案内

部	技研部	自然・山行部	自然・山行部	ひまわり部
月/日(曜)	11/2(木)～/4(土)	11/12(日)	11/19(日)	11/24(金)
山名(行事)	石鎚山	鞍岳・ツームシ岳	檜原山・羅漢寺	琴ノ尾岳・仙吾岳・丸田岳
地 図	石鎚山・堂ヶ岳・二ノ森	鞍 岳	耶馬溪西部・東部	長崎東北部
集合場所	諫早駅 6:20 西諫早駅 6:30	西諫早駅 7:00	諫早駅 6:20 西諫早駅 6:30	緑地公園 9:00
難 易 度	体力2/技術1.5	体力1/技術1	体力1/技術1.5	体力1/技術1
帰着時間	11/4(土)21:00	17:30～18:00	19:00	15:30
歩行時間	5.0～6.0h	4.0～5.0h	4.0h	4.0h
交通手段	マイクロバス	マイクロバス	マイクロバス	マイカー
宿泊施設	国民宿舎・旅館	なし	なし	なし
温 泉	なし	なし	なし	なし
参加費	35,000～40,000円	3,700円	4,500円	800円
申込期限	9/30	11/5	11/11	11/20
集 約	堺	高 森	高 森	田中 静
備 考	紅葉狩りと「三本杭山(崖有)」を巡ります。	阿蘇外輪山山頂からの眺望、日本遊歩道百選を歩く。	檜原山の修験岩場を歩き、また秋の耶馬溪東部の古羅漢を訪ねます。	琴の尾岳からは東に多良山系、雲仙、北に大村湾、南に長崎市と360度の展望。

12月

部	自然・山行部	ひまわり部
月/日(曜)	12/10(日)	12/22(金)
山名(行事)	五ヶ山・九千部山	五家原岳(中尾根コース)
地 図	九千部山・石谷山	多良岳
集合場所	西諫早駅 7:30	緑地公園 9:00
難 易 度	体力1/技術1	体力1/技術1
帰着時間	17:00	15:00
歩行時間	4.0～4.5h	3.5h
交通手段	マイクロバス	マイカー
宿泊施設	なし	なし
温 泉	なし	なし
参加費	3,500円	800円
申込期限	12/3(日)	12/18(月)
集 約	高 森	田中 静
備 考	九州百名山の九千部山頂には弁財天の祠があり博多湾、熊本、筑紫平野、有明海の眺望が良い。	中尾根コースから登り仏の辻を下る。山頂からは雲仙岳、経ヶ岳の眺望が素晴らしい。

事務局より

◇ 平和登山・被爆遺構巡りに参加して

平和登山……9月30日(土) 8:30～14:30

- 参加者 12名(オレンジ7名)
- 行程：坂本国際墓地～片足鳥居～被爆クスノキ～旧医科大学正門～経の峰墓地～穴弘法寺～砲台跡～金毘羅山～天狗岩～原爆中心地

- 感想**
- 数年ぶりの平和登山参加でしたが、まだ知らない原爆遺構が多くある事を知り勉強になった。
- 初めての参加で原爆の罪の深さを改めて思いました。ガイドの説明も分かり易くて参加してよかった。



坂本国際墓地



穴弘法寺



霊仙寺の井戸



被爆遺構巡り……9月30日(土) 9:00～13:00

- 参加者 13名(オレンジ4名)
- 行程：三菱製鋼所あと～長崎新聞社説明版～坂本国際墓地～被爆観音～山王神社～除沈地～久保忠八邸跡～大学病院の石垣～医学部構内～高谷家若桜神社～浦上天主堂～浦上キリシタン資料館～追悼記念館

- 感想**
- 母が被爆者で今年3回忌を迎えます。その母の若かりし頃を思い浮かべながら巡りました。



片足鳥居



被爆クスノキ



平和記念像

◇ 24 労山カレンダー紹介

- 定価 1,000円(税込み)：申込み事務局まで

表紙：潤沢カールと穂高連峰



月	名称	山名
1	谷川での会合	谷川岳
2	天翔	高落場山
3	厳冬期黎明	鳥甲山
4	足元まで群生のニリンソウ	井原山
5	あの岩でゴロンになりたい	宮之浦岳
6	シラネアオイ咲く一ノ倉沢	一ノ倉岳
7	梅雨明けの頃	南蔵王山
8	勇姿	劔岳
9	逆さ火打	火打山
10	焼石連峰の紅葉	モッコ岳
11	雪山歩き始め	立山・室堂
12	朝焼けの小沼	赤城山小沼

◇ 県連より

- 「県連フェスタ」10/28(土)13:00～29(日)15:30分 多良金泉寺
- 「ストレッチ講座」11/ 1(水)14:00～16:00 アリーナカブトガニ 無料

申込 10/29迄(白石氏)

体操のできる服装、シューズ、タオル、飲み物

- 「野岳湖で野鳥観察と郡岳登山」12/10(日)予定
- 「雪山訓練」2024/2/23(金)～25(日)……弥山登山と雪山散策



ストレッチ講座
QRコード

定期トレーニング

コンパニオンレスキュー

実施日	10月21日	懸垂下降	ムンターヒッチ	ワイヤーナンキン	ロープの背負方
場所	運動公園				
参加数	8名				






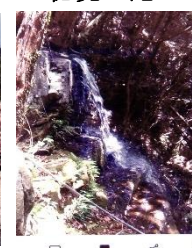


火曜岩ハイキング

月日	7/11 多良岳	7/18 浄土山	7/25 多良山系
人数・時間	8名・2.0h	10名・3.0h	9名・4.0h
概要	金泉寺登山口P～多良岳～金泉寺登山口P。登山道脇にはヤブカンゾウ、ハンカイソウ、ヤマアジサイ、ツチアケビ等が見られた。	浄土山登山口～浄土山～十三佛～浄土山登山口。浄土登山口までの道は荒れていて通行注意。「浄土石彫り」と十三佛見事だった。	金泉寺登山口P～864 分岐～ひぐらしの滝～役行者～金泉寺登山口P。前岳からの下りは急坂で危険中山キャンプ場からの沢にはたくさんのオオキツネノカミソリがあった。
備考	多良権現  ヤマアジサイ 	浄土石彫り  十三佛 	前岳からの下り  オオキツネノカミソリ 



水曜登山

月日	7/26 多良山系	8/23 九千部岳	8/30 八郎・小八郎
人数・時間	5名・5.0h	6名・3.5h	7名・6.0h
概要	中山キャンプ場P～864～前岳分岐～沢～中山キャンプ場P。沢筋の登山道は涼しくオオキツネノカミソリもまだ健在だった。	田代原P～林道～九千部岳分岐。曇天の中登り始めたが程なく雷が鳴り始めたので中止した。ナツエビネを発見。	市民農園P～八郎岳～小八郎岳～千々峠～秘境の滝～千々峠～八郎岳～市民農園P。小雨の中黙々と歩き、幻の滝を目にしたが水量が少なく残念ピストンで皆疲労困憊。
備考	殉職の碑  オオキツネノカミソリ 	クサギの花  ナツエビネ 	展望岩  秘境の滝? 

8/27(日) 宝満山(829m)・仏頂山(869)

【行程】

西諫早駅 7:55 → 筑紫野 IC 9:30 → 猫谷川登山口着 10:00 ~ 登山開始 10:10 ~ 夫婦滝 ~ 花乱の滝 ~ 庭石荘 ~ 釣舟岩 ~ 八合目分岐から 6 名はキャンプ場へ向かう。先行班 9 名は宝満山を目指す。八合目分岐 ~ 仏頂山 12:30 ~ 宝満山着 12:55 (昼食) ~ 下山 13:15 ~ キャンプ場着 13:50 ~ 待機していた救護班と合流し下山 14:00 ~ 大谷尾根コース下山 ~ 分岐 14:40 ~ 猫谷川新道出会 15:10 ~ 猫谷川新道登山口 15:20 ~ 帰路 15:40 → 筑紫野 IC 16:10 → 西諫早駅 18:00

【参加者】

今坂、工藤、乾、福岡、金丸、松岡、堺、福田、西、高森、吉川、山下ち、川野、辻、大原

【登山概要】

猫谷川新道コースを辿り仏頂山～宝満山～キャンプ場。下山は大谷尾根道コースで、猫谷川登山口に戻る周回コースを歩いた。

二合目分岐からは川沿い道を進む。数回の沢渡や岩場の急登を慎重に進み、幾つかの小滝を通過。汗ばんだ体に冷風が心地良い。川沿道を通り、五合目の庭石荘から巨石が折り重なる釣舟岩を通り、谷間沿いの岩場や急坂をロープ伝いに登る。赤テープと道標識を確認し急斜面を進む。

六合目過ぎに体調不良 1 名が出た為、予定変更し八合目分岐から救護班 6 名はキャンプ場、登頂班 9 名は宝満山を目指す。

仏頂山は、樹林に囲まれた祠が祀られていた。緩やかな尾根道の樹林帯を下ると宝満山の分岐に出た。眼上に、巨大岩壁が高く聳え、宝満山直下の急勾配の岩壁と石段の鎖場を登り山頂に着く。

頂きは花崗岩の巨石が重なる岩峰だ。立派な上宮祠が建立され、霊峰を感じる。山頂からは三郡山、福岡の山並みを望む。昼食休憩後、キャンプ場に向かい救護班と合流。

帰りは大谷尾根道を辿り、静粛な植林帯道のガレバ道を下り、猫谷川新道登山口に全員元気で到着。難コースではあったが思い出深い登山となった。



岩壁ロープ場

【一言感想】

※宝満山は奇岩や滝を楽しむコースでした。

沢からの心地良い涼風を感じながら、急登を必死で登りました。山頂直下の巨大な岩壁斜面は、鎖を握りながら登りきり、達成感は最高の気分でした。

※猫谷川新道コースの沢沿いや急登の岩場の登山道は難路でした。標識と目印テープと YAMAP で進路確認しながら登る難解な登山でしたが、修験道を走破出来た事は、今後の活動に自信を持ちました。



北アルプス（雲の平）へ 9月2日～9日

参加者が4名と少なかった事に加え、台風の動きが気になり山行中も雨に打たれるとの強い覚悟で臨んだ。また事前情報として、今年は山小屋では水が不足しており節水せねばとの思いで出発。小池新道に入って間もなく、秩父沢が見事に枯渇しており、ちょろりの水も流れていない状況である。

双六小屋よりガスの中、双六岳を目指して登っていると、丸山を経て三俣蓮華岳あたりで快晴となる。眼前の鷲羽岳の眺めが素晴らしい。



黒部源流域への下り道では、たくさんの大きい木苺に皆舌鼓を打ち、湧水を補給した。また源流は水量が少なく、難なく渡渉できたものの、雲の平までの急登は暑く、大変な思いで登り非常に疲れた。

帰路の鷲羽岳からの下りでは雨に会ってしまい、三俣山荘に着いた時には、ぐっしょりの濡れネズミ状態である。しかし、これくらいの雨では、とても小屋の水不足解消には程遠いようである。



また今回の山行では、特別天然記念物のライチョウに毎日出会え、しかも子連れあり、カップルありで、きつい山行の中であって、ほっと一息つける癒しの時間になった。

最終日は前日の打ち合わせ通り、夜明け前の4時30分に出発した。日の出の中、槍ヶ岳から穂高の山にかかる雲もなく、見事な眺めを拝ませて頂いた。台風崩れの雲に一喜一憂し、晴れたりガスったり、また雨にも打たれて、バラエティーに富んだ山行で、全てのシーンを含んだ印象に残る山行となった。留守を守って頂いた関係者に改めて感謝申し上げる。



ちょっと感想

- ① 山が大きく、やはりアルプスはそこの山とは全然違う。雷鳥も初めて見たが、激減しているのに非常にラッキーでした。
- ② 南も良いが北もまた男らしい山で見所満載。距離を歩くので日ごろの鍛錬を怠らないようにしないと、諸先輩のようにはなれないことを痛感した。
- ③ 寛大に受け入れて頂き、その上参加者の皆様には親切にしてください感謝申し上げます。
- ④ まあ天気はアルプスですのでこのくらいの予想はしてましたが、皆の心が一つになり目標に向かっていく心意気は、このチームにとって最高でした。

9/22 (金)舞岳ふれあいロード



参加者
福岡 白石 金丸 今坂 高田 工藤 中野 仲井 吉崎

行程

緑地公園 9:00～舞岳山荘 P10:20～舞岳山頂 12:04～舞岳山荘 13:05～(昼食・ソーメン・そば)出発 14:35～舞岳源水 14:50～緑地公園 16:10



概要

漢字八の字の登山ゲートをくぐり、舞岳ふれあいロード 8888 段の始まり。階段の間隔が狭く緩やかなので、時々2段飛ばしで歩くこともあった。又不揃いの階段で一定のリズムで歩けないので、つまずきそうに気を使った。登山道には 1000 段ごとに標識が建てられているので、目安になり頑張れる。7777 段目の所には、神楽石・夫婦岩がある。舞岳山頂は標高 703m。天気の良いと平成新山が目の前に見えるが、この日は雲がかかって見えなかった。

下山後は舞岳山荘の芝生広場の東屋での昼食の時に、Sさんが準備してくださった氷で冷えたソーメン・そばを食べた。冷たくて美味しかった。食後、コーヒーを飲みながら、楽しい交流が出来た。

その後、舞岳源水へ。観音様、ダルマ、カエルなど大きな石で作られた、縁起物の下の岩に蛇口が付いていて、そこから水をくむ。



舞岳源水

一言感想

- ほぼ毎日ソーメンを食べているけど、今日のソーメンは格別においしかったです。山行の疲れを忘れるほどに。
- 初めての 8888 段でしたが、丁度良い距離と時間で、いい汗をかき、昼食のソーメン、そばも最高でした。



10/1 釈迦ヶ岳 (1230m) 御前岳 (1209m)

【行程】

往路：本諫早駅 6:10 → 米庭跡 6:20 → 西諫早駅 IC 6:30 → 諫早 IC → 松原 6:50 → 金立 SA 7:30
→ 日田 IC 8:40 → スノーピーク奥日田 9:05 → 矢部越登山口 9:20 ~ 分岐 ~ 普賢岳 10:08
~ 分岐 ~ 釈迦ヶ岳 10:30 ~ 御前岳 11:45 昼食休憩

復路：御前岳下山 12:10 ~ 林道出合い 13:15 ~ 杣の里登山口 14:00/14:15
→ 広川 IC 15:55 → 金立 SA 16:25 → 川登 SA 17:00 → 松原 17:25
→ 諫早 IC → 西諫早駅 18:00

【参加者】 (13名) 今坂、工藤、鎗水、辻、吉川、大原、吉崎
西、福岡、松岡、高田、野田、高森



【登山概要】 福岡と大分の県境に位置する福岡県最高峰の釈迦ヶ岳、御前岳の二座を目指す。矢部越登山口を出発。整備された樹林帯の山道を暫く登り、釈迦ヶ岳分岐を普賢岳(1231m)方向へ。5分程で気象観測ドームがある山頂に着く。遠景に由布岳、久住山、阿蘇山などの山並みを望みながら休憩。分岐まで戻り目前の岩場急登を鎖伝いに登り、15分程進むと釈迦ヶ岳山頂に着く。釈迦像が鎮座し祀られている。鋭鋒の頂は狭い。360度の眺望を楽しんだ後、西方に望む御前岳を目指す。急斜面岩場を、鎖を頼りに下ると緩やかな稜線になる。ブナ、カエデ、ナラ等、広葉樹林帯の三つの小ピークを超え、整備された山道を快適に歩く。沿道に咲く可憐な花々を觀賞しながら、最後の急登を登りきると御前岳に到着。振り返ると釈迦ヶ岳が凜として見える。狭い山頂は地元小中学生の団体が賑わっていた。

素晴らしい展望を楽しんだ。昼食後、杣の里登山口に向け下山。岩場とがれ場の急坂、樹林帯合間を1時間程下ると林道出合に出る。林道を歩き分岐を杣の里方面に下る。落葉樹林や植林帯合間のがれ場急坂を下ると谷間の川沿いに出る。川渡を数回行い、清流のせせらぎと小滝の音に癒される川端で小休憩し、谷間の道を辿って終点の杣の里登山口に到着。

【一言感想】

- ※ 久々の、釈迦ヶ岳の記憶と違ったが良い汗をかいた。
- ※ 秋の気配を感じながらゆっくりと山歩きを楽しみました。
- ※ 長い上り下り、岩場もありバリエーション豊かなコースで楽しく歩きました。
- ※ 7年ぶりの釈迦ヶ岳、御前岳でした。相変わらずの厳しさでしたが、迎えてくれた花々に癒されました。



おれんじカレンダー

11月			12月		
1	水	水曜登山(自主)	1	金	緑の平地歩き(自主)
2	木	石鎚山 (技研部)	2	土	
3	金		3	日	
4	土		4	月	
5	日		5	火	火曜登山(自主)
6	月		6	水	水曜登山(自主)
7	火	火曜登山(中山越～経ヶ岳・自主)	7	木	
8	水	水曜登山(自主)	8	金	
9	木		9	土	
10	金	緑の平地歩き(自主)	10	日	五ヶ山・九千部山 (自然。山行部)
11	土		11	月	
12	日	鞍岳・ツームシ山 (自然・山行部)	12	火	火曜登山(自主)
13	月		13	水	水曜登山(自主)
14	火	火曜登山(雲仙普賢岳・自主)	14	木	
15	水	水曜登山(自主)	15	金	緑の平地歩き(自主)
16	木		16	土	コンパニオンレスキュー(技研部)
17	金	緑の平地歩き(自主)	17	日	
18	土	コンパニオンレスキュー(技研部)	18	月	
19	日	檜原山 (自然・山行部)	19	火	火曜登山(自主)
20	月		20	水	水曜登山(自主)
21	火	火曜登山(長崎七面山・自主)	21	木	
22	水	水曜登山(自主)	22	金	五家原岳・中尾根コース
23	木		23	土	専門部会・全体集会
24	金	琴ノ尾岳・仙吾岳・丸田岳 (ひまわり部)	24	日	
25	土	専門部会・全体集会	25	月	
26	日	岩訓練 (権現岩・技研部)	26	火	火曜登山(自主・休み)
27	月		27	水	水曜登山(自主)
28	火	火曜登山(四阿登山口～金泉寺・自主)	28	木	
29	水	水曜登山(自主)	29	金	緑の平地歩き(自主)
30	木		30	土	
			31	日	

川原顧問所掌 ➡ 緑の平地歩き(金曜 9:00)、コンパニオンレスキュー(第3土曜 9:30) 緑地公園集合

発行元	オレンジハイキングクラブ
発行責任者	鎗水 律夫
編集責任者	高田啓子
編集委員	工藤学、福田清人、吉原昌弘、陣川光子、西寿男、山下文代、林孝子、福岡正廣
発行年月日	2023/10/26
郵便振込口座	
ホームページ	http://orangehikingclub.com



オレンジホームページ
QRコード